

柏市水道施設運転管理業務委託
受託事業者選定基準

柏 市 上 下 水 道 局

目 次

1	受託事業者選定方式・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	受託事業者選定方法・・・・・・・・・・・・・・・・	1
3	審査の流れ・・・・・・・・・・・・・・・・	2
4	審査方法・・・・・・・・・・・・・・・・	3

この受託事業者選定基準は、柏市上下水道局（以下「上下水道局」という。）が、柏市水道施設運転管理業務委託（以下「本業務」という。）を実施するにあたり、本業務を受託する事業者（以下「受託事業者」という。）の選定方式・方法について示すものである。

1 受託事業者選定方式

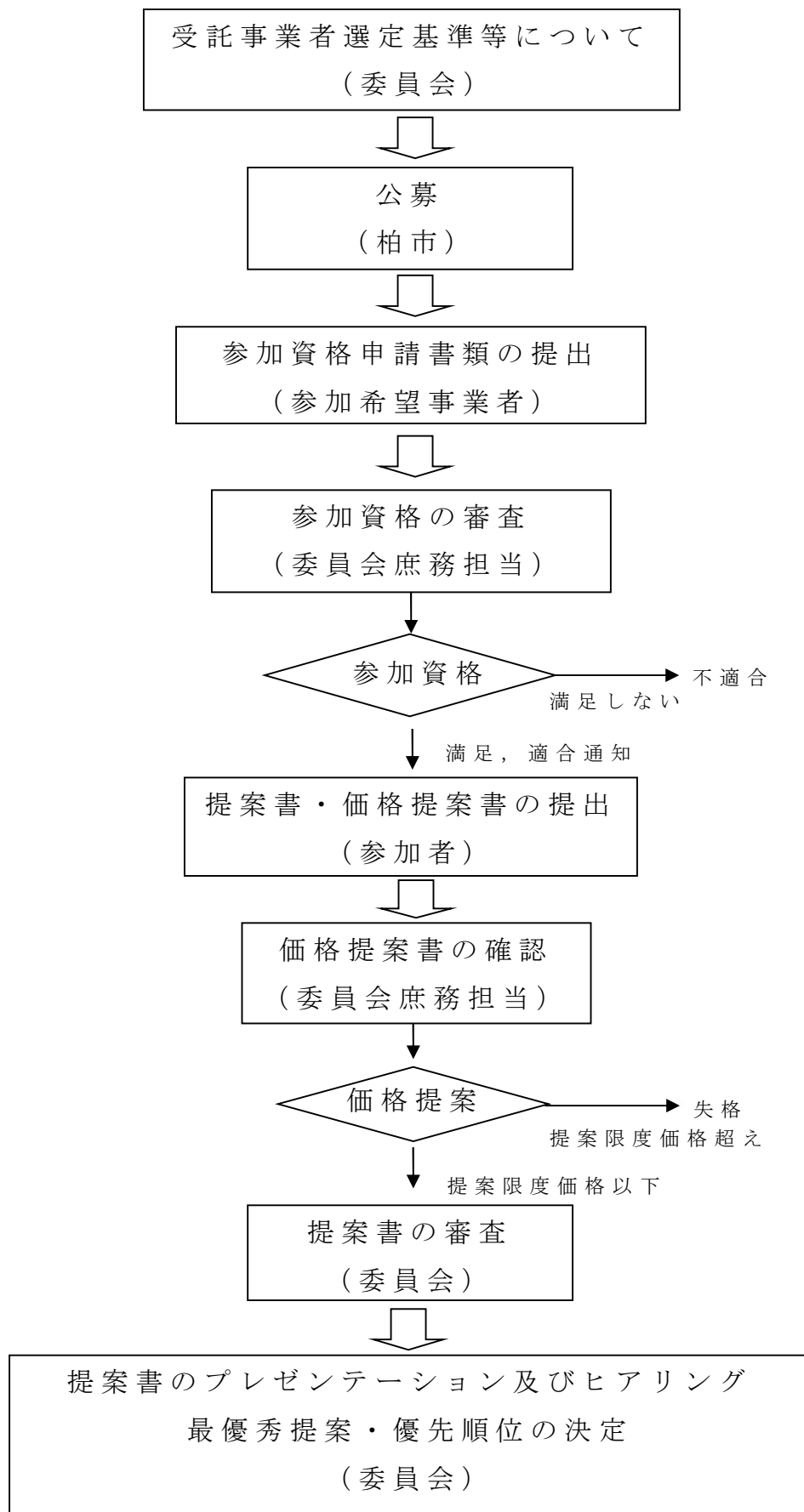
本業務の受託事業者を競争性，公正性，透明性を確保して選定するために，公募型プロポーザル方式によって，プロポーザル参加事業者（以下「参加者」という。）を募集し，参加者を総合的に評価し，最優秀提案と優先交渉順位を決定し，優先交渉権者と契約を締結する方式とする。

2 受託事業者選定方法

- (1) 受託事業者選定には，上下水道局が「柏市上下水道局プロポーザル方式選定委員会（柏市水道施設運転管理業務委託）」（以下「委員会」という。）を設置し，その業務を行う。また，委員会の組織，運営等については，柏市上下水道局処務規程の第15条の2に基づき，柏市プロポーザル方式選定委員会規則の「市長」を「上下水道事業管理者」と読み替え準用する。
- (2) 参加希望事業者には，参加資格申請書を提出してもらい，参加資格に適合している参加者に対して，具体的提案及び価格提案を求め，書類の審査，プレゼンテーション及びヒアリングによる選定方法とする。

3 審査の流れ

審査の流れは、以下のとおりとする。



4 審査方法

- (1) 提案書の提出者を選出するための審査（以下「資格審査」という。）

プロポーザル参加資格審査申請書類により，公募型プロポーザル募集要領に記載のプロポーザル参加者の備えるべき参加資格を満たしていることを確認し，その結果を参加者に対し通知する。資格不備の場合は，提案書の提出者として不適合として通知する。

- (2) 価格提案の確認

提出された価格提案が提案限度価格以下であることを確認する。提案限度価格を超えた場合は失格とする。

- (3) 提案内容の基礎審査

提案書から以下の基礎審査項目の内容を満たしていることを確認する。基礎審査事項について1項目でも満たさないことが確認された場合は失格とする。

ア 書類の提出が期限を過ぎた場合

イ 価格提案書が提案限度価格を超えた場合

ウ 価格提案書に記名押印がない場合

エ 審査の公平性に影響を与えるような行為があった場合

オ 提案書全般について，様式集に従った構成となっていない場合

カ 提案書の内容が公募型プロポーザル募集要領等と矛盾している場合

キ 提出する書類に虚偽の内容があった場合

- (4) 提案内容の定量化審査

提案書及び価格提案書に記載された内容について，各審査項目に対し，評価の理由を明らかにした上で，得点化する。得点の合計が最も高い提案を最優秀提案として選定する。

ア 審査項目と配点

項目，配点は，本市が本業務に期待する事項の必要性又は重要性を勘案して設定した。

表 1 審査項目と配点

審査項目	配点
(ア)参加者の経営状況	15点
(イ)業務履行計画に関する事項	35点
(ウ)運転管理業務に関する事項	40点
(エ)保守管理業務に関する事項	30点
(オ)修繕業務に関する事項	20点
(カ)その他任意提案に関する事項	20点
(キ)価格提案書に関する事項	40点
合 計	200点

イ 審査項目の細目と審査の視点

次の表に示す配点に従い，計画の妥当性，既存施設に対する理解，業務遂行体制，安全への配慮，緊急時の対応などの視点から提案書類等に記載された内容を得点化する。

表 2 審査項目の細目と審査の視点

審査項目（細目）	審査視点	配点
(ア)参加者の経営状況		
a 受託能力	資本金，本社の所在，業務内容及び社歴等から業務受託能力を判断する。	5点
b 経営基盤	過去3ヶ年(令和3～5年度)における決算関係書類(貸借対照表，損益計算書等)において経営に問題はないか。	5点
c 実績	給水人口 200,000人以上かつ施設能力 70,000m ³ /日以上の水道事業(用水供給事業除く)において，24時間365日の運転管理業務の実績は十分か。	5点
(イ)業務履行計画に関する事項		
a 危機管理体制	地震対策，風水害対策，停電対策，水質事故対策，渇水対策，テロ対策，感染症対策，火災対策，施設の故障，その他の危機管理項目ごとの備えが具体的に示されているか。	20点
b 教育・訓練	労働安全教育，運転管理技術向上教育，危機管理の訓練について，具体的に示されているか。	10点
c 習熟・準備	業務従事者を確保し，習熟・準備期間内に教育・訓練等を行い，本業務の履行に支障のないように行えるか。	5点

審査項目（細目）	審査視点	配点
(ウ) 運転管理業務に関する事項		
a 運転管理体制	人員の配置，運転管理体制，統括責任者の勤務体制，連絡体制の確保等が具体的に示されているか。	20点
b 運転管理業務の取組み	運転管理を行う上での創意工夫，独自の取組みが示されているか。	20点
(エ) 保守管理業務に関する事項		
a 保守管理体制	保守管理の発注先，監督方法，整備に必要な部品の管理などが具体的に示されているか。	15点
b 保守管理の取組み	保守管理を行う上での創意工夫，独自の取組みが示されているか。	15点
(オ) 修繕業務に関する事項		
a 修繕業務体制	電気設備の修繕，計画修繕，簡易修繕，小規模修繕の行い方が具体的に示されているか。	10点
b 修繕業務の取組み	予防保全の修繕，事後保全の修繕を行う上での創意工夫，独自の取組みが示されているか。	10点
(カ) その他任意提案に関する事項		
任意提案書	本業務において良質な浄水を安定的に供給する上で，その他にアピールしたいことや任意の提案が示されているか。	20点
(キ) 価格提案書に関する事項		
価格提案	最低価格が満点	40点
合 計		200点

ウ 定性的審査項目における得点化方法

定性的審査項目((ア)～(カ))については，次に示す5段階評価による得点化する。

表3 得点化方法

評価	評価の意味合い	得点化方法
A	当該評価項目において特に優れている	配点×1.0
B	当該評価項目において優れている	配点×0.8
C	当該評価項目において普通	配点×0.6
D	当該評価項目においてやや劣る	配点×0.4
E	当該評価項目において劣る	配点×0.2

エ 失格基準

表 2 (ア)参加者の経営状況「b 経営基盤」については下表による基準を設ける。

表 4 失格基準①

評価	対応
C	参加者に対して要ヒアリング
D	失 格
E	失 格

また、表 2 (イ)～(オ)については、評価項目ごとに下表による基準を設ける。

表 5 失格基準②

評価	対応
D	参加者に対して要ヒアリング
E	参加者に対して要ヒアリング

ヒアリングをした結果、失格とするかの判定を委員会で審議し決定する。

オ 価格提案書に関する事項

審査項目のうち、価格提案書に関する事項については、次の算定式により得点を付与する。

$$\text{得点} = (\text{最低価格} / \text{提案価格}) \times \text{配点}$$

(5) 最優秀提案の決定

委員会の評価と価格提案を踏まえ、最優秀提案と優先交渉順位を決定する。

なお、得点は、各委員が評価し、その得点を合計し委員全員の合計を算出する。項目ごとに小数点第二位以下を四捨五入した値とし、得点の合計が同点の場合は、次の順によって最優秀提案を選定する。①(キ)価格提案書に関する事項、②(ウ)運転管理業務に関する事項、③(エ)保守管理に関する事項